


令和2年2月17日

野々市市議会議長 様

(報告者)

会派名〔又は〕 野々市フォーラム
 代表者〔議員名〕 早川 彰一 

政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和2年1月15日から 令和2年1月16日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	Ⅰ つくば市役所（茨城県つくば市研究学園 1-1-1） Ⅱ 国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町 1-10-1） Ⅲ 軽井沢町役場（長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2381-1）
参加者氏名	早川彰一、向田誠市、小堀孝史、朝倉雅三
目 的 (調査・視察事項)	Ⅰ-① 小中一貫教育の取り組みと有効性について Ⅰ-② ICT教育について Ⅱ-① 国立国会図書館東京本館の特性と役割について Ⅲ-① 軽井沢町のまちづくり提案制度とみなまちサポートについて Ⅲ-② ラウンドアバウトの取り組みについて 上記についての調査研修及び視察
調査・視察概要	Ⅰ-① つくば市の小中一貫教育は平成19年から準備委員会を設置して取り組んでいる。現在、施設一体型の学園が4校・その他12地域は施設分離型である。施設一体型の場合は、上級生が下級生との交流で指導する等している一方、分離型の場合は各施設間でTV会議を活用して機能的な結合を図り各学校間の連携を強化している。総合的な教育方法は「つくばスタイル科」の中でまとめている。対応する先生方は、小中学校両方の教員免許を持つことを基本にして、スムーズな異動を可能として、問題がないようにしている。 施設分離型での運用に関する工夫状況を参考に野々市市でも可能であることを確認することができた。また、先生方が小中学校両方の教員免許を持つことは課題になると思われる。 Ⅰ-② つくば市のICT教育は、昭和52年から当時の教育長の積極的な取り組みにより、先生に対する研修から始まり、現在では、生

徒全員にタブレット端末を配布して勉強している。全国に先駆けてプログラミング教育も実施しており、基礎課程は昨年末で一通り実施済み。教育に必要な環境作りにも力を入れており、新任教師が使い易い教材の作成、プレゼン研修成果のコンテスト実施、生徒が自宅でスマホからいつでもアクセスし学習ができるドリル学習コーナー開設等の充実を図っている。

導入が定着するまでは種々の準備と多くの時間が必要であることを実感させられた。

Ⅱ-① 国立国会図書館は、国会に属する日本で唯一の国立の図書館であり、国会法 130 条の規定に基づき国立国会図書館法により昭和 23 年に設置されている。今回視察した東京本館は永田町にあり、京都の関西図書館と上野公園内にある国際こども図書館の、合計 3 つの施設の代表的な位置づけとなっている。施設は地上 3 階地下 8 階建てで、強固な岩盤の上に設置され安全な構造となっている。

書籍は政治・経済からコミックに至り、新聞は全国紙から地方紙まで全て 365 日分を含み、可能な限り過去の年数のものが保管されている。書庫収蔵能力の 3 館の合計は、資料 1 冊あたりの厚さを 3 cm で換算して約 1905 万部収容可能である。

劣化や損傷したものは丁寧に修復されて保管されている。閲覧は、国会議員は閲覧可能で、一般者は館内では電子化されたデータをパソコン端末で閲覧可能となっている。全国どこからでも図書館からの申し込みで閲覧可能なシステムとなっている。

日本全体をカバーする唯一の図書館として、その重責を担っていることに感動した。

Ⅲ-① 軽井沢町のまちづくり提案制度は、基本的な事項を定める「軽井沢町まちづくり基本条例」の目的に沿って、住民の皆さんが街づくりに対するアイデアや自主的な活動などについて町長に提案する制度である。提案された内容は、必要に応じて「軽井沢 22 世紀風土フォーラム基本会議」で意見聴取を行い、町の施策への反映や、まちづくり活動への支援を検討し、平成 19 年の開始以来、のべ 15 件の提案が行われ実施されている。

最近の提案事例では、環境省レッドリストに指定されている絶滅危惧植物の「ヤマタバコ」が町内に自生していることが判り、町と協力して現況調査を行い、「将来の自然環境を考える」きっかけとして、みなまちサポート事業として講演会を開催した。

「みなまちサポート」は軽井沢「みんなの力でつくるまちなみ」活動支援事業の通称名で、まちづくり活動を行う団体の自立促進を図ることを目的とした制度である。具体的な制度内容は、対象団体

は5名以上で構成され、補助対象としては、公益性、独創性、発展性、必要性、実現性、自立性、熟度、の7つの必要条件が有る。

補助内容は、対象経費の2分の1以内で上限25万円の範囲で、対象年数を3年間としていることは大いに参考となった。

Ⅲ-② ラウンドアバウトは、現在、「六本辻」と「借宿」の2つが設置され、「六本辻」は旧交差点を改良し、「借宿」はバイパスと既設道路の連結用として新設された。導入による主な効果は、交差点形状の単純化・通行車両の交錯回避などによる通過速度の低下と安全性の向上が図られている。また、信号機がないため防災対策上の効果も期待できる。「借宿」での特徴は下り方向のカーブ10mほどにフロンを使用した融雪装置を採用し、電気を使用しない環境にやさしい構造となっている。しかし、導入コストやランニングコストが大きい事がネックになっている。

本市において、交差点改良を行う場合、用地確保や住民とのコンセンサス等に充分理解が得られるようにする必要が有ると思われる。

参考写真

I つくば市役所



I つくば市議会 本会議場



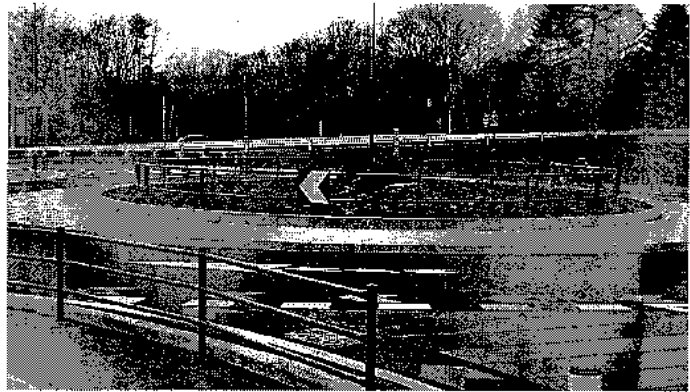
II 国立国会図書館 東京本館
(地下8階から地上3階を臨む)



II 図書館 保管庫内部



III 借宿ラウンドアバウト



III 六本辻ラウンドアバウト

